

清瀬市内大学合同プログラムが開催されました！

清瀬市内には、国立看護大学校、日本社会事業大学、明治薬科大学という、医療・福祉分野に特化した3つの大学があります。それぞれが専門性の高い人材育成を担っている中で、昨年度に引き続き、3大学が連携して1・2年生を対象としたIPE（専門職連携教育：Interprofessional Education）を実施しました。

7/30（水）
日本社会事業大学

社会福祉とソーシャルワーク、介護福祉に関する講義を受け、コミュニティソーシャルワーカー（CSW）フレームを用いて事例検討を行いました。また、福祉現場の動向に対応した介護実習棟を見学しました。

7/31（木）
国立看護大学校

慢性疾患や生命倫理、看護職に関する制度についての講義を受けた後、実習室ツアーを行いました。グループワークでは多職種連携の重要性について話し合い、演習では心不全患者に対する看護技術を学びました。

8/1（金）
明治薬科大学

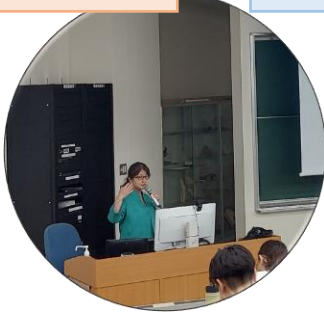
事例をもとにSmall Group Discussionを行い、KJ法を用いた情報整理、2次元展開法によって抽出した重要課題とその対応策をプレゼンテーションしました。また、モデル薬局や資料館、実験室を見学しました。



萱間大学校長 挨拶



飯野学部長 講義



小島教授 講義



渡辺教授 講義

本取り組みは、将来異なる専門分野で活躍する学生同士が、早い段階から互いの専門性や役割を理解し合い、チーム医療・包括的支援の基礎を学ぶことを目的としています。今年度は「慢性疾患を抱えながら長期療養を要する人々の生活を支える」をテーマに、実際の現場に近い事例をもとに、グループワークや演習を行いました。

初めは緊張した様子の学生も見られましたが、回を重ねるごとに打ち解け、互いの専門職の視点や考え方に触れる中で、職種間の連携の重要性や、異なる価値観に対する理解を着実に深めていきました。



今後も、地域に根ざした教育機関として、各大学の専門性を活かしながら連携を強化し、実践的かつ相互理解に基づいた教育を推進していく予定です。